

経済・経営学演習

(大石桂一ゼミ)

授業科目名	経済・経営学演習		講義題目	企業会計	
授業科目区分	選択必修科目		授業科目コード*	—	
授業方法及び開講学期等	通常講義 通年	担当教員名	大石桂一	授業対象学生及び学年等	3年以上
単位数	4単位				
履修条件	会計学Ⅰ・Ⅱを履修していること		キーワード	会計、財務諸表、企業分析	
全体の教育目標	会計情報を使いこなせるようになること、グループ・ワークができるようになること、およびプレゼンテーションとディスカッションの能力を高めること。		個別の学習目標	財務会計の制度と理論を理解したうえで、企業を分析する力を養うこと。	
授業の概要 本演習では、会計を有用な道具として使いこなせるようになることを目標としている。そのためにはまず、会計制度とその背後にある理論を理解することが必要である。プレーを楽しむためには、 <u>ある程度はルールを学ばなければならない</u> からである（つまり「ルールの学習」と「実際のプレー」とのバランスが重要なのである）。そのうえで、実際に会計情報を使って様々な分析を行う。 また、ゼミは基本的に3・4年生合同、2コマ連続で行う予定である。なお、必要に応じてサブゼミを行うこともある。					
授業計画 前期は、基本的なテキスト（受講者と相談の上で決定する）をもとに、財務会計の制度と理論について理解し、後期にはそれを応用して具体的な分析・研究を行うことを考えている（グループ・ワーク）。後期の具体的な分析・研究内容については、受講者の理解と関心に応じて決定する。 また、年度末には各自あるいはグループでの分析・研究の結果をゼミ論文にまとめてもらう。					
授業の進め方 あらかじめ報告者（グループ）を決め、プレゼンテーションとディスカッションの形式で行う。			教科書及び参考図書 教科書・参考書は受講生の関心等を勘案し、相談のうえ決定する。		
試験・成績評価の方法等 平素の成績（プレゼンテーションのレベル、ディスカッションの内容と積極性、および勤勉性）と年度末のゼミ論文で評価する。			その他 演習参加申込を行い受講を認められた学生だけが登録できる。		
ゼミの企画、その他特記事項 <ul style="list-style-type: none"> 本演習では学生による自主的な運営を旨とする。テーマや分析対象の選定、ゼミ合宿や飲み会の企画、学園祭への参加、インゼミの開催、および工場見学や企業訪問の計画など、自由に意見を出し合って、相談してほしい。その際に私はアドバイザーとしての役割を果たす。 年度末のゼミ論文（個人で書いてもよいし、グループで書いてもよい）の提出は必須とする。 					
応募に当たっての注意 <ul style="list-style-type: none"> オープンゼミは実施しない。 受講希望者はゼミ説明会には必ず参加すること。授業との重複など、正当な理由により参加できない場合は、メールにて連絡のうえ(oishik@econ.kyushu-u.ac.jp)、指示を仰ぐこと。 希望者多数の場合は、申込書に基づき選抜する。選抜に当たっては志望理由を重視する。 推奨基本科目(会計学Ⅰ・Ⅱ)の履修(単位取得ではない)を応募の条件とする。 					